

社会資本総合整備計画 事後評価シート

深大寺地区における良好な街なみの形成

調布市

令和3年8月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

令和3年 8月11日

計画の名称	1 第二期深大寺地区における良好な街なみの形成		
計画の期間	平成27年度 ～ 令和元年度（5年間）	交付対象	調布市
計画の目標	深大寺地区は水と緑が豊かな自然環境に囲まれ、奈良時代に始まり、浅草寺に次ぐ古い歴史を持つとされる深大寺や中世の上杉朝興の山城である深大寺城跡（国指定史跡）といった歴史ある資源が数多く存在しており、調布市内における観光拠点となっている。また、深大寺周辺や神代植物公園、国分寺崖線周辺には豊かな自然環境や農地が残されており、自然環境と一体となった市街地が形成されている。このような中、地元まちづくり活動と連携を図りながら、深大寺地区の良好な自然環境等の保全と賑わいを創出するまちづくりを進め、良好な街なみを形成していく。		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調布市北部地域において「深大寺周辺の景観が優れている」と感じる市民の割合</li> <li>・来街者をもてなし、楽しく歩いて廻れる歩行空間の整備</li> </ul>
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (R1末)							
① 深大寺地区を含む調布市北部地域において、深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合を計測する。 (調布市民意識調査結果より引用)	90.7%		95.0%							
② 地区内における遊歩道・散策路整備等の計画延長に対する完了延長をもとに算出する。	3.8%		40.7%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	106.5百万円	A	106.5百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
事業担当課において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証・分析するとともに、客観的視点を反映させるため、評価結果を「深大寺通り街づくり協議会」に報告し、第三期計画における事業の実施に向けた意見を求めている。	令和2年度
	公表の方法
	市公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1		
1-A-1	住宅	一般	調布市	直接	調布市			深大寺地区街なみ環境整備事業	遊歩道・散策路整備、道路の美装化改良、案内板の設置、修景整備助成、電線類改善整備 約38ha	調布市						106.5	
合計											106.5						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	R1			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	R1			
合計																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩道・散策路整備により、落ち着いた感じられる良好な街並み景観を形成することができ、「深大寺周辺の景観が優れている」と感じる市民の割合が増加した。</li> <li>・遊歩道・散策路整備の完了延長距離を延長したことにより、歩行者の安全安心に配慮した楽しく歩いて巡れる歩行環境が整い、深大寺地区の歴史・文化を感じながら散策できる遊歩道・散策路の回遊性を向上することができた。</li> </ul>				
II 定量的指標の達成状況	指標①（良好な街なみと感じる市民の割合）	最終目標値	95.00%	目標値と実績値に差が出た要因	市道北136号線他遊歩道・散策路整備を実施することで、落ち着いた感じられる良好な街並み景観を形成することができたが、整備完了箇所が少なかったことが、目標達成までには及ばなかった要因と推察する。	
		最終実績値	93.40%			
	指標②（計画延長に対する完了延長）	最終目標値	40.70%	目標値と実績値に差が出た要因	市道北136号線他遊歩道・散策路整備を実施することで、完了延長距離を延長することができたが、地権者等との調整に時間がかかり予定していた路線全てを整備することができなかったことが、目標達成までには及ばなかった要因と推察する。	
		最終実績値	18.40%			
			最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
			最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道北136号線他遊歩道・散策路整備によって歩行空間としての安全性が向上した。</li> <li>・市道北136号線他遊歩道・散策路整備によって住民、来街者の散策路の利用が増加した。</li> <li>・案内板サインの整備により、徒歩の来街者がスムーズに地区内の回遊ができるようになった。</li> </ul>				
3. 特記事項（今後の方針等）						
<p>①第三期も継続して事業を実施していくにあたり、第三期計画の定量的指標について、遊歩道・散策路、道路等の整備状況を数値化するため、「来街者をもてなし、楽しく歩いて巡れる歩行者空間の整備」を追加し、遊歩道・散策路整備等の計画延長に対する完了延長の割合を算出することとした。また、第三期計画から、地域住民の良好な住環境の形成を図るとともに、賑わいのあるまちなみを形成するにあたり、深大寺地区の地域交流人口の増加を図ることを定量的指標に追加し、深大寺地区の地域情報発信場所の利用者数を計測することとした。</p> <p>②今後、各種整備を行うにあたり、地元の街づくり協議会等と十分な協議・調整を行いながら引き続き下記の点を踏まえて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩道・散策路整備については、門前の雰囲気と国分寺崖線を始めとする周辺の自然環境を調和させるため、一定の統一感を持たせながらもエリア毎に特色を持たせた設えとする。</li> <li>・道路の美装化・改良については、和風の趣を持たせながらも、ユニバーサルデザインの視点に立ち、誰もが安心安全に歩行できる空間として整備する。</li> <li>・案内板サインについては、地区内の自然景観や歴史的・文化的な趣を感じさせる街なみ景観に調和した誰にでも分かりやすいサインを統一的に整備する。</li> </ul> <p>③深大寺通り街づくり協議会より、「遊歩道・散策路の整備により歩行者が安全に歩行することができ、遊歩道を散策する来街者が増えた。また、深大寺地区の風景を維持し来街者をもてなすために、定期的に整備済みの遊歩道の清掃を行っており、景観に対する意識の向上につながった」との評価をいただいたことから、引き続き効果を得るため事業を進めて行くことが望ましい。</p>						

計画の名称

1 深大寺地区における良好な街なみの形成

計画の期間

平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)

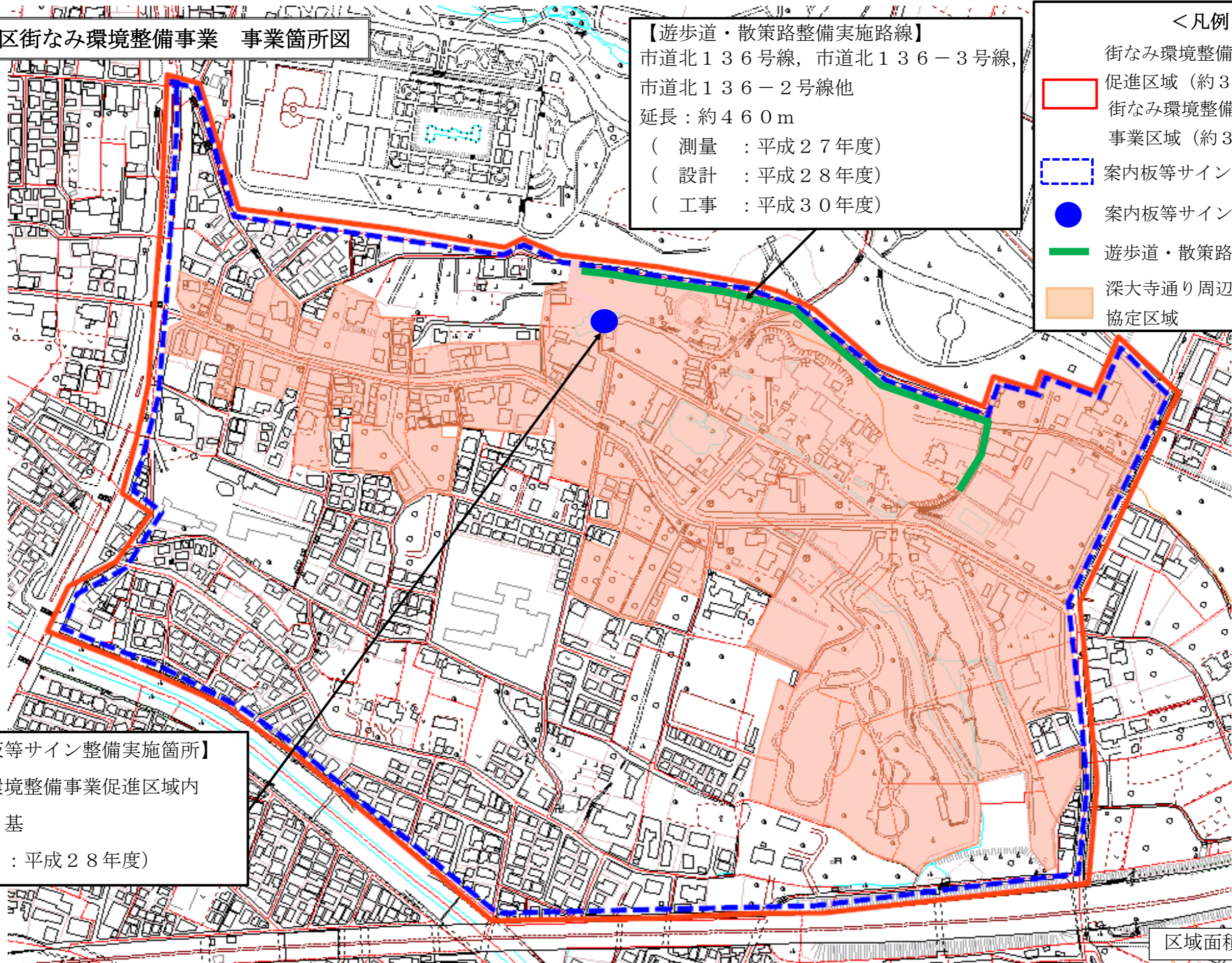
交付対象

調布市

深大寺地区街なみ環境整備事業 事業箇所図

【遊歩道・散策路整備実施路線】  
 市道北136号線, 市道北136-3号線,  
 市道北136-2号線他  
 延長: 約460m  
 ( 測量 : 平成27年度)  
 ( 設計 : 平成28年度)  
 ( 工事 : 平成30年度)

- <凡例>
- 街なみ環境整備  
 促進区域 (約38ha)
  - 街なみ環境整備  
 事業区域 (約38ha)
  - 案内板等サイン整備区域
  - 案内板等サイン整備実施箇所
  - 遊歩道・散策路整備実施路線
  - 深大寺通り周辺地区街づくり  
 協定区域



【案内板等サイン整備実施箇所】  
 街なみ環境整備事業促進区域内  
 設置: 1基  
 (工事 : 平成28年度)

区域面積: 約38ha